

FUJIEDA ROTARY CLUB

Weekly Bulletin

例 会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL：054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-9-16 TEL：054-647-2300 FAX：054-647-2040
E-mail: club1972@fujieda-rotary.org

会長：青島 克郎 副会長：松葉 隆夫 幹事：仲田 廣志 副幹事：増田 國衛

第1796回

<ソング> 四つのテスト

<ソングリーダー> 森下 敏顯君



2008-2009年度 RIテーマ

夢をかたちに

李 東建



蠟 梅

写真提供：事務局

■ 会長報告

青島 克郎君

今年もセンター試験が始まり受験シーズンが参りました。大学進学を目指す生徒の希望する学部、学科により大学入試のための履修科目が異なることがあるため履修科目が文系的または理系的になるように高校で指導することが慣習化し、学習塾もこれを受けた事業を展開しています。

よく血液型での性格判断をする習慣がありますが大雑把には当てはまると思われることが多いように感じます。同様にこの文系の人、理系の人によってもその人の得意分野が別れるようですし性格にも関係するのではないかと考えられます。

現実には「世の中には理系と文系の二種類の人間が存在している」と考えている人は多いようです。文系とは主に、人間の行動や思考が何らかの形で関わった現象についての学問とされ、文献などの個別の対象や思想などの概念の対象を解釈する人文科学と、社会現象や制度を歴史的、思想的もしくは実証的に解釈する社会科学などが当てはめられる。理系とは人間そのものと人間を取り巻く自然全般を実証的に研究する学問とされ、自然科学などが当てはめられるとあります。

少々ややこしい表現ですがわかりやすく表現すると理系人間は数学や理科などが得意で、計算や物事の観察能力に優れている。その反面、人付き合いや芸術の理解には不向きで、感情より理性を優先する傾向がある。

また、文系人間は国語や社会、歴史などが得意で、人付き合いや芸術的感性に優れている。一方、計算や科学的思考法に疎く、理性よりも感情を重ん

ずる特性を持つということになるのではないのでしょうか。また、理系は左脳人間、文系は右脳人間とも言えると思います。

政治家の世界では自民党と公明党に文系出身者が多く、民主党、共産党、社民党に理系出身者が多く、中国共産党の執行部は理系出身者で占められているとのことです。

■ 幹事報告

仲田 廣志君

- ロータリー囲碁同好会より「ロータリー神戸国際囲碁大会」の開催のお知らせが届いております。

平成21年3月7日(土)～8日(日)

神戸ポートピアホテル

- インターシティミーティング登録のお願いとスケジュールが焼津ロータリークラブより届いております。

平成21年3月8日(日)開会13:30

松風閣

- ザ・ロータリアン誌が届いております。
- 島田ロータリークラブ週報が届いております。
- 藤枝市サッカー協会より藤枝市長杯争奪ジュニアユースサッカー大会結果報告と御礼が届いております。
- 静岡産業大学より寄附講座交流会のご案内が届いております。

平成21年2月27日(金)18:00

藤枝エミナース

■ 出席報告

森下 敏顯君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
24 / 36 66.67%	28 / 36 77.78%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○北村君 ○杉山君 ○鈴木廣君 ○松葉隆君
○松葉義君 ○水野君 ○青島彰君 飯塚君
板倉君 鈴木舜君 仲田晃君 望月志君

■ ビジター

河村 武君(榛南)

■ 会員増強・維持中間報告

会員増強委員会
委員長

後藤 功君



増強一色のスタートの中、クラブの力、友情を強く感じ、半年ですが私個人にとっていろいろな面で収穫のある半年でした。

委員会の会合もおおよそ1ヶ月に1度開催、3回目の10月3日の会合でようやくスタートラインに着く。JC出身者への勧誘について委員会から問題提起11月5日南クラブとの増強委員会合同会議開催、会長、幹事出席、南5名、藤枝9名出席。結果は、今後はどちらの立場でもそうしたことに惑わされることなく、遠慮することなく勧誘を薦めていただけてけっこうである。どちらに入っても良いじゃないかのご承諾を戴く、一応の成果を見た。全会員にご承知いただきたい。

今までに名前の上がった方々は、志太交通、佐野石材、カワイ樹園、扶桑工業、大塚工務店、カゴメ工場長、中外製薬工場長、ワタシナ工業、ハルモニア理事長の中で5名に絞り結果上期に3名内定した。

委員会の会合、5月7日次年度へ向けての準備会、8月20日経過報告と今後の活動について、

10月3日推薦リストのチェック、JC出身者への勧誘の対応、11月5日南クラブとの合同会議開催、12月24日入会状況報告

<地区の活動>

7月27日第1回目増強セミナー「純増1名を達成するために」当日、増強宣言採択

宮川委員長より

静岡県 1,000人対してロータリアン0.6人

山梨県 1,000人に対して1.1人

<分区において>

9月3日クラブ協議会開催、「魅力あるロータリー活動とは」純増2名を宣言3つのテーマで討論クラブとして

8月2日 増強月間ということでパワー浜松 原田直前会長に卓話依頼

<勧誘のコツ>

1. 全委員参加でやる 2. 仕組みを作る
3. メディアを利用すること 4. 強力なリーダーシップ

<下半期>

地区では2月第2回目の増強セミナー開催予定「上半期における会員動向の把握と下半期の具体的増強対策の検討」

クラブとして、継続的な勧誘と退会者0への対応そして新たな候補者の推薦の依頼の実施

(担当/森下)